

# おおふなと 社協だより

2018年9月号

ふれあいネットワーク

ホームページの  
「今日のにこにん」も  
見つけらっせん。

[http://  
ofunato-shakyo.com](http://ofunato-shakyo.com)



【特集】じぶんの町を良くするしくみ…	2～3
ボランティア体験inいわて.....	4
なでしこの会.....	4
KOSONOWA .....	5
多くの善意を少しでも返したい.....	5
お知らせ.....	6～7
輝き人.....	8



今月の表紙

なすかわ まさお  
名須川 正男さん  
ひろこ  
ヒロ子さん



# 赤い羽根共同募金

## じぶんの町を良くするしくみ

### 全国一斉にスタート

今年も、10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金が実施されます。

共同募金は、戦後間もない昭和22年に、市民が主体の民間運動として開始され、当初は被災した福祉施設の支援を中心に活用されていましたが、その時代の要請に応じて役割を変化させ、地域福祉の推進のために活用されてきました。

現在は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、

さまざまな地域課題解決に取り組む民間団体を応援する仕組みとして位置づけられ、施設や車両の整備、住民福祉活動等に活用されています。

### 大船渡のまちを良くするしくみ

共同募金には一般募金と歳末たすけあい募金があり、一般募金は地域福祉活動を行っている団体への助成等、歳末たすけあい募金は新たな年を迎える時期に、支援を

要する人たちを支える活動等に活用されます。

これらの募金は、事前に活用方法を決め、それに必要な金額（目標額）を設定してから募金活動を行うため計画募金と呼ばれています。各世帯に協力を願うる戸

別募金において、目安額を示しているのは、この目標額達成に向けて取り組んでいるためです。

一般募金は次年度の活動費用に活用されますが、そのうち約70%が募金された地域で、約30%が都道府県の範囲における広域的な課題解決のために活用されます。

寄せられた募金は、大船渡のまち、岩手のまちを良くするために活用される仕組みとなっています。

### 被災地支援にも活用

近年、全国各地で多発している災害発生時には、被災者に対する支援金の受付を行っているほか、被災地におけるボランティア活動等を支援する活用方法限定の募金（ボラサポ募金）も行い、被災者支援活動にも取り組んでいます。

また、一般募金のうち3%を上限に災害等準備金として積み立てられており、災害発生時におけるボラ



赤崎中学校では歳末募金に取り組みました。



多くの皆さんの協力のもと、募金がスタートします。

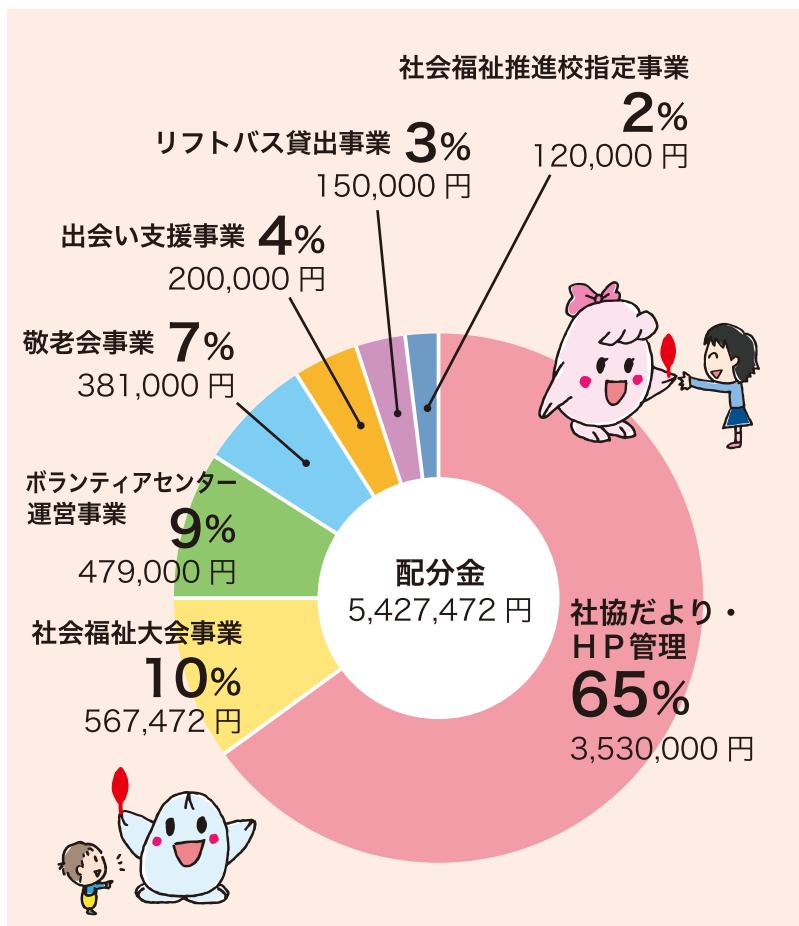
ご協力をよろしくお願い致します



ボランティア活動の拠点となる災害ボランティアセンターの運営資金として活用されています。

## 30年度配分金の使い道

今年の大船渡市における配分金は5,427,472円で、その主な活用内容は、社協だよりやホームページ管理等の広報活動費に65%、社会福祉大会開催費に10%、ボランティア活動センター運営費に9%などとなってています。



## 平成29年度募金実績

単位:円

募金種別	募金実績額	
	一般募金	歳末たすけあい募金
戸別募金	5,068,400	2,082,460
街頭募金	196,501	154,454
法人募金	10,000	10,000
学校募金	95,545	216,379
イベント募金	27,803	—
職域募金	—	543,518
個人募金	93,644	59,726
その他	59,141	405,898
合計	5,551,034	3,472,435

## 大船渡市共同募金委員会における募金活動

大船渡市共同募金委員会（戸田公明会長）では、今年も世帯を対象とした「戸別募金」を中心募金運動を実施します。募金目標額は、昨年度と同額で一般募金が650万円、歳末たすけあい募金が350万円に設定しています。戸別募金においては、それぞれ一世帯当たり500円と200円を目安額

として協力をお願いいたしますが、強要するものではありません。各世帯相応のご協力をいただければ結構です。  
そのほか、市内店舗やイベント等において協力を呼びかける「街頭募金」や「イベント募金」、学校や職場単位で取り組む「学校募金」や「職域募金」なども実施します。

今年の街頭募金は、10月1日

(月)に大船渡市地域婦人団体連絡協議会、盛保育園、大船渡保育園、明和保育園、立根保育園、猪川保育園、立根地区民生児童委員協議会の皆さんのご協力を得て、サンリア、マイヤ大船渡店・赤崎店・インター店の4か所にて実施します。時間は午前10時から午後3時30分)までです。

# 2018ボランティア体験 in いわて 中高生がボランティアの第一歩



子ども達の遊びに優しくじっくり付き合ってくれました。

2018ボランティア体験 in いわて（岩手県社会福祉協議会主催、市町村社協共催）は、自分たちの住む地域への理解・関心度を深めながら、ボランティア活動の意義を学び、継続的に参加するきっかけをつくることを目的として、6月から1月まで岩手県内で開催しています。

このうち大船渡市では、子ども向けのイベントやマラソン大会の運営補助など、5つのボランティア体験プログラムに、17人の中高校生が参加しました。参加者の9割はボランティア初心者で、うち大船渡市では、子ども達にどう話しかければよいのかと考えていましたが、一緒に遊ぶにつれて、仲良くなることができました。子育て支援で子どもと遊ぶということは、こんなにも考えるものなのかと思いました。とても楽しかったので、また参加したいです。

大船渡東高校2年 新沼水璃さん（16）最初、子ども達にどう話しかければよいのかと考えていましたが、一緒に遊ぶにつれて、仲良くなることができました。子育て支援で子どもと遊ぶということは、こんなにも考えるものなのかと思いました。とても楽しかったので、また参加したいです。

体验でしたが、複数日参加した人や、2つ以上のプログラムに参加した人など、積極的な姿が見られました。つどいの広場で、子どもの遊び相手と会場準備のボランティアを体验した2人に感想を聞いてみました。



輪投げでは1投ごとに大きな歓声が上がります。

猪川町前田地区では、毎月第4水曜日に「なでしこの会」を開催しています。なでしこの会は猪川町で五年祭が開催された年に、お祭りが終わつた後も定期的に皆で集まる機会を作りたいと、当時婦人部長だった佐藤恵子さんの呼びかけで始まりました。

毎回30人以上が参加し、お茶会を中心に行っています。

季節行事などを実行しています。前田地区の各班に1人ずつサロ

ンの実行委員がいることで、参加を促す声掛けや、活動内容などの要望を広く集めることが出来るのが、このサロンの特徴です。

8月のサロンに集まつたのは33人。軽体操の後は輪投げを行い、会場は元気な笑い声で包まれました。お茶会の時間には日

帰り旅行の行先が話題になり、「どこ行きたい?」「ハワイ」のやりとりに皆で大笑い。テーブルに並んだお漬物が「おいしい」と声が挙がればレシピを配布したりと、実行委員も参加者もいきいきと参加しているのが印象的でした。

「震災後、前田地区に移住した人と顔見知りになる機会となつたこと、参加の呼びかけを行なうこと、参加の呼びかけを行なながら高齢者の見守りに繋がっていることなど、参加者同士の交流の他にも、なでしこの会は様々な地域活動につながつていい」と佐藤恵子さんは話してくださいました。

## 交流、見守り、支えあい なでしこの会



## 第2回 大船渡を子育てしやすい まちにするための会議－KOSONOWA－



子育てしやすいまちにするため、参加者のみなさんが企画案を深めていきます。

大船渡市子ども・子育て支援事業計画の4つの基本目標のうち「地域における子育て支援の充実」について、その施策の展開として「子育て支援ネットワークづくり」を掲げています。その取り組みとして「大船渡市子育て支援ネットワーク会議」を設置し、平成28年度から開催しています。市から本会に実施主体を引き継ぎ、キャッセン大船渡・タウンマネジャーの臂徹さんをコーディネーターに迎え、今回で2回目の開催となります。

この会議は子育て支援に関わる方や子育て中の親を対象に、市内の子育てに関する問題を洗い出し、解決するための方法を洗い出します。みんなで考え、新たな取り組みに繋げることを目的に開催しています。

第2回の会議では、第1回のグループワークで挙げられた問題を整理し、「一時預かり問題」を軽減するため、情報の見える化実験の3つのテーマについてを充実するため、他園や施設との交流を深める「子育て支援サイト『つばきつづ』」を実現するため、田中サロンの参加者が発案し、田中地域公民館の協力でスタートしたものです。田中サロンは、昨年度、共同募金会から「被災地住民支援」の3つのテーマについてを充実するため、田中サロン内でも協議しました。内での社会資源の再確認に繋がり、実施する上で付随する問題が新たに発見されたりと、各グループも熱心に話し合いながら、実際に内容を深め、実際に行動していきました。今後は各テーマについて、グループごとにさらに内容を深め、実際に行動します。子育て中の方、興味・関心のある方の参加をお待ちしております。



地域のみなさんの思いの一つひとつが形になりました。

大船渡町の田中地域公民館（紺野孝館長）と田中サロン（金野豊彦会長）では、7月17日（火）から8月25日（土）まで、「平成30年7月西日本豪雨災害義援金募金」に取り組み、130世帯より54,775円が集まりました。

この募金活動は、田中サロンの参加者が発案し、田中地域公民館の協力でスタートしたものでした。田中サロンは、昨年度、共同募金会から「被災地住民支援」の3つのテーマについてを充実するため、田中サロン内でも協議しました。内での社会資源の再確認に繋がり、実施する上で付随する問題が新たに発見されたりと、各グループも熱心に話し合いながら、実際に内容を深め、実際に行動します。

紺野館長、金野会長は、「助成金を活用して、東日本大震災後に移住してきた住民と従来から住んでいる住民との交流活動に力を入れることができました。今度は、他の人を助ける番。少しありますが、被災された皆さんのために使つていただければ」と話してくれました。今回寄せられた募金は全額、共同募金会を通じて、被災した各市町村の住民の皆さんへ届けられます。

多くの善意を少しでも返したい  
**田中地域公民館、田中サロン  
義援金募金活動**



10日(水)	ともみんの健康相談	午前10時～正午
18日(木)	ハローワークお仕事相談会	午前10時30分～正午
	わいわいトーク	正午～午後1時

## おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている方ならどなたでも利用できます。

**日 時** 毎週火曜日午前10時～午後3時  
**場 所** 大船渡市防災観光交流センター  
 2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は10月11日(木)（午前10時～正午）に開催します。

\*岩手県福祉人材センター情報

## 介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい方などの相談に応じます。相談を希望する場合は、事前に連絡をお願いします。

### 介護のしごと相談日程（10月）

開催日	会 場	時 間
9日(火)	防災観光交流センター	午前10時～午後4時
11日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
15日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
25日(木)	ハローワーク	午前10時～午後4時
29日(月)	Y・Sセンター	午前10時～正午

## 介護技術講座

介護技術を確認し、再就職につなげる講座を開催します。受講を希望する人は事前にお申込みください。

**日 時** 10月25日(木)午後5時～8時30分(午後4時30分から受付)

**場 所** 大船渡市総合福祉センター  
**対 象** 介護事業所に勤務したことがある人、介護の資格を持っているが、現在介護事業所に勤務していない人など

**定 員** 20人

**参加費** 無料

**申込・問い合わせ先**

岩手県福祉人材センター 坂本さん  
 電話 080-8201-0200

## ほいくしカフェ

保育士の再就職について、コーディネーターや同じ思いを持つみなさんとお話しする場です。参加を希望される人は事前にお申込みください。

**日 時** 10月11日(木)午前10時30分～正午  
**場 所** 大船渡市Y・Sセンター



**申込・問い合わせ先** 大船渡市社会福祉協議会  
 電話 0192(27)0001 (代表)

\*支えあいまちづくり事業情報

## 陽だまりサロン

誰でも参加できます。ご近所お誘いあわせの上、お近くのサロンへお越しください。

**時 間** 午前10時から正午 (猪川地区公民館でのサロンは午後1時まで)

**内 容** 血圧測定、軽体操、ゲーム、手芸、お茶っこなど

## 陽だまりサロン日程（10月）

開催日	場 所
3日(水)	崎浜公民館
5日(金)	吉浜地区拠点センター
9日(火)	田代屋敷公民館
10日(水)	鷹生公民館
19日(金)	下中井公民館
23日(火)	猪川地区公民館
26日(金)	綾姫ホール

\*子育て支援事業情報

## ちびっこひろば&わいわいステーションinキャッセン

下記の日程でイベントを開催します。お気軽に越しください。

**日 時** 10月2日(火)午前10時～午後3時

**場 所** キャッセン大船渡コミュニティースペース、千年広場

**内 容** 親子ダンス、防災コーナー、フリーマーケット、福祉のお仕事紹介コーナー、ママのリラクゼーションブース、飲食ブース等

## つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽に越しください。

## つどいの広場イベント日程（10月）

開催日	内 容	時 間
4日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後4時
	成長記録カード作り	午前10時～正午 午後1時～4時
5日(金)	成長記録カード作り	午前10時～正午 午後1時～4時

\*ボランティア活動センター情報

## ボランティア養成講座

下記の日程で各種ボランティア養成講座を開講します。受講を希望する人は事務局までお申込みください。

### 日 時 【要約筆記教室】

10月24日～11月7日（3回）  
毎週水曜日 午後7時～9時

### 【音声訳教室】

11月6日～20日（3回）  
毎週火曜日 午後7時～9時

場 所  
定 員  
參 加 費  
大船渡市総合福祉センター  
各教室15人  
無料

## 寄付・寄贈受入（8月分）

復興支援金 匿名1件、特定非営利活動法人  
夢ネット大船渡様

福 祉 基 金 七虹会様、ミチノク様、高橋祐  
子様

寄 贈 物 品 匿名1件（支援用食糧）、匿名  
1件（車椅子）

## 義援金の受入（8月分）

平成30年7月西日本豪雨災害  
下館下地域公民館様、大船渡ボランティア  
グループせきれい様、田中地域公民館様

ホームページで社協活動を  
日々更新中です。



<http://ofunato-shakyo.com>

## 今月の表紙

名須川 正 男 さん  
ヒロ子 さん  
(立根町在住)

9月1日に県営運動  
公園陸上競技場で開催  
された「いきいきシニア  
スポーツ大会」に大船渡  
市代表メンバーとして  
二人そろって出場した  
名須川さんご夫妻。

結婚54年目のお二人  
の併まいからは仲睦ま  
じが伝わってきて、見  
ているこちらも幸せな  
気持ちになってきます。



### □10月号課題「鏡」

#### □締め切り

10月5日(金)必着。

1人1句。

(自信作をひとつ)

はがき使用。

#### □投句先

立根町字下欠125-12

「Y・Sセンター」内

大船渡市

社会福祉協議会

「ふくし川柳」係

#### □その他の

作品によっては、

添削する場合もあり

ます。投句者の氏名

にはフリガナをつけ  
てください。

対象 保育士の資格を持っているが、現

在保育士として働いていない人など

参加料 無料

## ほいくの仕事出張相談会

下記の日程で出張相談会を開催します。保育士経験のあるコーディネーターが、保育の就職に関する相談に応じます。相談を希望する場合は、事前に連絡をお願いします。

日 時 9月27日(木)午前11時～午後2時

場 所 ハローワーク大船渡

対 象 保育士の資格を持っているが、現  
在保育士として働いていない人、保  
育士資格取得を考えている人など

参加料 無料

申込・問い合わせ先

保育士・保育所支援センター 山田さん

電話 019-637-4544



\*就労準備支援事業情報

## フリースペース

就労準備支援事業では15～65歳のお仕事をされていない人で、「働く」ことに不安や悩みを抱えている人を対象に、体力づくりの機会をつくりっています。参加を希望する人は事務局までお申込みください。

日 時 毎週木曜日

午後1時30分～3時30分

場 所 大船渡市Y・Sセンター

所 容 卓球

持ち物 上靴



## 「ふくし川柳」

課題 「雑詠」 富谷英雄選

台風はお手柔らかに地球様  
三代の揃いの舞に感謝する  
ありがとうございます敬老会のご案内  
オイオイと呼ばれかしづく半世紀

（評）最初にこの作品を詠んだ時、思わず私の事かと驚かされた。  
「私も安否確認される歳になつたか」と実感させられた一句で

『佳作』

年 いちど 安否確認 盆帰り

盛・田沢 博昭

越・平田 栄夫  
大・新沼都 紀子  
末・滝田 澄子  
日・佐藤アサ子

# 輝き人

今 こん の こと な 野 琴 那さん (22歳)

猪川町出身。平成29年4月より社会福祉法人猪川愛児会猪川保育園に保育士として勤務。日々変化する保育の現場で自分の理想の保育像を実現するべく奮闘中。



## ●保育士を目指す

高校時代、食品や香粧品の香料を調合する調香師を目指す一方で、子どもと関わる仕事に就きたいとも思っていました。

そんなとき、保育士を目指して勉強していた姉から保育の仕事について聞き、調べていくうちに、保育とは「生きしていく力の基礎を育む」とことと教えられました。その大切な場面に関わることに強い魅力を感じ、保育士を目指すことにしました。

大卒業後、生まれ育った猪川町で保育士として勤務することとなり今年で2年目になります。

●先輩の先生に少しでも近づきたい  
学生時代に猪川保育園で実習をしましたが、先生方は常に園児一人ひとりの感情に寄り添い、とてもあたたかく接していた姿が深く印象に残っています。その姿は今も変わらず、自分もそ

うあります。

入職当初、3歳児のクラスを担当しましたが、園児一人ひとりに向き合う余裕がなく、先輩の先生に助けてもらしながら子どもたちと関わっていました。それでも、11月に他のクラスに異動する直前、園児たちが写真や似顔絵をプレゼントしてくれて温かく送り出してくれました。この時のことは忘れられない思い出になっています。

## ●理想の保育を実践したい

大事だと思っています。園児だけに気をかけるのだけでなく、親やその家庭環境に至るまで様々なことを考慮しながら保育に生かしていくことも重要です。

## ●園児の気持ちを把握する術からスタート

現在は、1歳児のクラスを受け持っています。1歳児の子は

子どもたちが、自分の個性を過ごせるようになることが理想的の保育像です。そのためには、子どもたち一人ひとりの好きなことや得意なことに目を向けるだけでなく、自分もそれを引き出し、受け止めることができるよう毎日努力を積み重ねることが必要だと思います。

保育士としても一人の大人としても成長していくながら、地域や社会に貢献していくようこれからも頑張っていきたいです。



見つけて  
Happy

すっかり秋めいて来ましたね！今月の社協だよりの中に、赤いものがいろいろおいてあります。  
赤い羽根はいくつあるかさがしてみてね！※特集記事のロゴマークの羽根は含みません。